

千葉県社保協通信

2024年度 No.3 2024年 7月 20日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セナビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

自治体キャラバンは 選挙以外で社会を 改善させていく優れた運動

7.11 自治体要請キャラバン事前学習会に 50人超 参加



相次ぐ社会保障制度改悪、物価高騰のもとで、高まる負担増に不安と怒りが広がっています。

33回目となる今年の「社会保障の充実を求める自治体要請キャラバン」では54市町村に対し、「住民税」「医療」「介護」「国保」「障害者福祉」「保育」「就学援助・子育て支援」「生活保護」「年金」「減災・防災」など124項目にわたる要請書を提出しました。市町村からの回答を受け、地域社保協、地域団体が中心となって懇談します。

7月11日、自治体福祉センターにて開催したキャラバン行動に向けての事前学習会には会場・Web合わせて50人超が参加しました。

竹内敏昭事務局長は、「自治体キャラバンは、選挙以外で社会を改善させていくきわめて優れた運動」と強調。自治体キャラバンで要請を重ねてきた「子

ども医療費助成」「学校給食無償化」「加齢性難聴者補聴器購入補助」「带状疱疹ワクチン接種補助」の各市町村の制度は大きく前進しています。

こうした中、昨年10月に海匝地域、今年6月に県内17番目となる山武地域社保協が誕生しました。

社会保障制度の脆弱さが明らかになる中で、国と自治体に対し、制度改善を求める地域からの取組みがますます重要になっています。住民のくらしの実態から貧困や病気、高齢や失業による困難は自己責任ではなく、社会的に解決すべきであることをより明らかにし、「住民及び滞在者の安全、健康及び福祉を保持する」自治体の役割発揮を求めます。

地域社保協の活性化と社保協のない地域での結成を展望しながら行います。

今からでも止められる 紙の保険証なくさないで!

保険証残そう! オールちばの会・千葉駅頭宣伝

7月5日(金) 午後5時から千葉駅東口にて、7団体33人の参加で宣伝行動を行いました。

県保険医協会の医師は、「情報漏えいの危険や医療機関でのシステム障害も起こり得る」と現場でトラブルや医療を受ける権利を危うくすると訴えました。「保険証無くなるんですか?」と尋ねる若者や通り過ぎても話を聞いて署名に戻ってくる男性、「保険証廃止も酷いけど今の政治はもっと酷い」と署名する女性など関心が高く、600個の署名ハガキ入りティッシュも45分間で無くなり、33筆の「現行の保険証残して」署名が寄せられました。



健康保険証廃止を中止・撤回することは国の責任でできること。皆さん、声を上げましょう